

2020年7月28日

## 新型コロナウイルスで困窮するガーナ共和国において 就労機会提供と衛生改善支援を実施

～ 都市部では日本向けのマスク製造委託 / 地方部では衛生用品提供や井戸造成 ～

江崎グリコ株式会社は、チョコレート製品の主原料・カカオ豆の主要調達先であるガーナ共和国において、この度、新型コロナウイルス感染症に関連する支援取り組みを実施しました。取り組みは、同国の都市部と地方部で実施し、都市部では日本向けマスクの製造を現地に委託することで、就労機会提供による支援を行いました。また、地方部ではカカオ豆の生産地域に対し、衛生用品の物資提供と併せ井戸造成の支援も実施することで、衛生状態の改善に向けた取り組みを行っています。

### ■ ガーナの現状と支援背景

ガーナ共和国（以下、ガーナ）は、アフリカ大陸の西側に位置する世界第2位のカカオ豆生産国です。江崎グリコは、長年にわたり、チョコレート製品の原料にガーナ産のカカオ豆を使用しており、現在、チョコレート商品のほぼ全てに同国産のカカオ豆を使用しています。ガーナの都市部では、行商や家内事業など収入が不安定な人が多く、新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため、外出禁止令が発令されたことなどによる影響で、市民は経済的困窮に晒されています。一方、地方部では、マスクや消毒液などの衛生用品がほとんど販売されておらず、医療機関もそれらの物資を十分に確保できていません。当社はこれらガーナの窮状に対し、その改善に向けた一助となるべく、都市部での就労機会提供、地方部での衛生改善支援を実施しました。

### ■ 都市部での取り組み

都市部での就労機会提供による支援の取り組みは、株式会社 DOYA（以下、DOYA 社）と NPO 法人 Doooooooo（以下、Doooooooo）との3者共同で実施しました。DOYA 社は、ガーナなど西アフリカの伝統的な素材を取り入れながら、日本でアパレル製品及びアクセサリーの企画、製造、販売を行うアパレルブランド「CLOUDY」（<https://cloudy-tokyo.com/>）を運営しており、また、アフリカの子どもの未来を応援する Doooooooo の運営も行っています。DOYA 社では、都市部の中でも特に経済的困窮に瀕している障がい者やシングルマザーを中心に同社の自社工場で雇用し、「CLOUDY」で販売される商品を製造しています。

#### ① 日本向けマスク委託による支援

今回の取り組みは、DOYA 社がもつ現地での仕組みを通じ、ガーナの方々を支援するものです。日本向けのマスク 1,000 枚を当社が発注し、そのマスクを工場生産してもらうことで現地での就労機会を提供します。また、DOYA 社はその収益の一部を Doooooooo に寄付し、同法人が西アフリカの各地で展開している「BEAT THE COVID-19 PROJECT in Ghana」に充てられました。マスクは同国の民族衣装などで使われる色彩豊かなガーナ布を使用したオリジナルマスクです。



<ガーナ布の鮮やかなマスク>



<一枚一枚を丁寧に縫製>



<支援物資配布の様子>

#### ② 支援物資の配布

今回の収益による「BEAT THE COVID-19 PROJECT in Ghana」は、新型コロナウイルスの被害が深刻な地域の1つであるガーナの Agbogbloshie（アグボグブロシー）地区で7月23日に行われました。同地区は、経済的困窮により食べる物が不足し、また、マスクなどの衛生用品が個人に行き届いていないなどの状況が続いており、それを解消するために約1,000名分の支援物資を配布しました。

## ■ 地方部での取り組み

地方部での衛生改善支援は、株式会社立花商店（以下、立花商店）と共同で実施しました。立花商店は、1947年創業の大阪府に拠点を置くカカオ・チョコレート商社で、カカオ豆を核に各事業を展開しています。同社は、ソーシャル・トレーディング・カンパニー（社会的商社）として、社会の課題を事業により解決する形態を追求しており、ガーナ資本のカカオ工場の事業拡大支援とガーナカカオ農園を応援する「ガーナ・カカオプロジェクト」を推進しています。今回、立花商店と支援を行ったのが、当社がカカオ豆を調達している地域の一つである Assin North（アッシン・ノース）及び Assin South（アッシン・サウス）地区です。両地区では衛生環境の整備が遅れており、改善の必要性が最も高い地区です。当社はその改善に向け、以下の取り組みを実施しました。

### ① ヘルスセンターへの医療用物資提供

同地区にある 10 か所のヘルスセンターに医療用マスク（ガーナ当局認証品）2,000 枚、消毒液（70%エタノール）500 本などの医療用物資を提供いたしました。ヘルスセンターでは医療用物資が不足していたため、今回の支援が感染拡大の防止につながると感謝の声をいただいております。



<地区の各ヘルスセンターの代表者に配布>



<医療現場に渡る物資>

### ② 感染拡大防止のために農家への布マスクと石鹸等の提供

同地区に住む仕立屋に布マスクの制作を依頼し、400 ある農家を対象に約 4,700 枚の布マスクを配布しました。また、手洗いの啓発を目的としたポスターと併せ、約 2,000 個の石鹸も提供しました。



<配布前の農家への説明>



<住民に行き渡るマスク>

### ③ 井戸採掘による衛生環境改善

ウイルスによる感染症対策には手洗いが必須にも関わらず、同地区には井戸が十分に整備されておらず、先進国では当たり前の清潔な水での手洗いが簡単にできる環境がありません。そのため、清潔な水を使用できるようにするため、井戸 2 基の設置にかかる費用を当社で負担し、井戸採掘を開始する予定です。

## 《Glico グループの CSR 調達について》

グローバルに事業活動を行う Glico グループでは、安全・安心はもちろん、環境や人権にも配慮した調達の一環として、産地が明確な「トレーサブルカカオ豆」の調達を推進しています。今後もバリューチェーンを通じて、環境保全・人権尊重・腐敗防止・競争法等を遵守することにより、事業活動を推進してまいります。